

令和7年度学校経営の改革方針

学 校 名	津市立北立誠小学校	校長名	山川 雅己
児童・生徒数	390名	学級数	20 学級
		教職員数	28 名

1. めざす学校像 「やる気いっぱい やさしさいっぱい 夢いっぱい」の学校

「やる気いっぱい やさしさいっぱい 夢いっぱい」の教育実践を通して「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」を育てます。

- 「やる気いっぱい」 様々なことに興味や関心を持ち、「考えてみよう」「やってみよう」と意欲を持って行動する子どもたちの姿です。
- 「やさしさいっぱい」 自分をかけがえのない存在として大切に思うとともに、家族や友だちなど自分以外の人のことも大切に思い、行動する子どもたちの姿です。
- 「夢いっぱい」 社会や世界に目を向け、夢を持ち、その実現に向けて、行動する子どもたちの姿です。

2 現状と課題

校区に新しく住宅地が開発されたことにより、一時児童数が増加したが、現在はほぼ横ばいからやや減少に転じ始めている。学校は海拔1,7mにあり、地震発生時の適切かつ迅速な対応が求められる。また、学校運営協議会を活用し、地域との連携を一層図る取り組みを継続中である。

児童は学校のきまりや友達との約束などを守るという規範意識は高く、学ぶ意欲も高い。校区に三重大学を有し、9カ国の外国につながる児童が在籍している。保護者は総じて教育に関心が高く、学校行事やPTA活動に対して熱心で、参加率も高い。

特別な支援を必要とする児童や不登校傾向の児童が増加し、個に応じた教育の充実が一層臨まれる。

3. 重点目標

- (1) 学力向上をめざした日々の取組
- (2) 人権教育の充実
- (3) 保護者・地域と連携した学校経営と積極的な情報発信
- (4) 職員の資質・能力の向上、学習指導充実の手だて
- (5) 安心・安全な学校づくり
- (6) 総勤務時間の縮減

4. 具体的な行動計画

◎研究主題「共有することを通して 自分の考えを広げ深め、表現できる子どもの育成」
～対話を大切にしたい深い学びをめざす国語科の授業を通して～

◎児童の実態を踏まえた人権課題に係る学習の推進

◎地域の人的・物的資源の活用とHP等を通じて特色ある教育活動や児童の様子の紹介。

◎全職員が年間1回以上の研究授業の実施

三重大学教育学部等との連携による学習指導の充実

◎保護者や地域・各組織等と連携した安全指導

◎PDCAサイクルを活用した学校行事・職務・勤務状況の見直しと勤務時間縮減への取組